

泉佐野
発

日本一の「まちづくり」

自由民主党 泉佐野市会議員団

千代松 大耕

ちよまつ ひろやす

市立病院問題



市立病院の独立行政法人化について

12月議会では、「地方独立行政法人りんくう総合医療センター定款制定について」「地方独立行政法人りんくう総合医療センター評価委員会条例制定について」といった市立泉佐野病院を独立行政法人に移行するための議案が上程されました。昨年の12月に策定された「泉佐野市病院改革プラン」によりまして市立泉佐野病院は独立行政法人へ移行をしていきます。独立行政法人に移行することの大きな目玉は医師や看護師など病院の職員が「非公務員型」になることです。つまり給与などの面において民間病院と同様に業務実績などを考慮する体系になるとともに、勤務形態に柔軟性をもたせることができ、医師確保、看護師確保に利点をもたらします。その定款と評価委員会設置の議案が12月議会で審査され、可決されました。

現在は平成23年4月1日に独立行政法人に移行というところで進めております。平成22年9月議会で「中期目標」、12月議会で「中期計画」「職員引継条列」「承継財産の承認」が上程されてくる予定です。今までは職員の給料や定数、そして何に使うかといった予算が議会で審査されてきましたが、これからは「中期目標」や「中期計画」といった案件しか審査されなくなってしまう。「議会のチェックが形骸化する」といった反対派からの指摘が議会であり、確かに私も議会のチェックは以前と比べますと甘くなるのは確かであると考えます。しかしながら今の市立病院の経営は平成19年度で累積赤字が約27億円、それに対して平成20年度で25億円の病院特例債の活用、13億円を一般会計から支出し、さらに13億円を一般会計から貸し付ける、といったように何とかしのいでいるというのが現状です。こういった経営難では、医師確保に十分な対策がうてません。医師が不足すれば診療科目が少なくなる、診療科目が少なくなれば収入が減少する、収入が減少すればさらに医師確保のための対策が打てない、といった負のスパイラルに陥っております。

このような経営難の市立病院を維持し、住民の生命を救うための高度医療をかね備えた地域の中核病院として市立病院を保つていくためには抜本的な市立病院の改革が本当に必要であります。医師、看護師を十分に確保し、地域医療を守っていかねばなりません。そのための一つの手法が「独立行政法人」への移行であります。反対派は「市立病院の民営化」「公的責任の後退」という脅し文句をかかげて、市民の方々の

の不安を掻き立てるようなマイナス宣伝をしますが、病院の設置者は独立行政法人化後も泉佐野市であり、公的な責任はこれからも泉佐野市が背負っていくこととなります。そういったところで多くの市民の方々は反対派の運動に感わされずにご理解いただきたくよろしくお願いを申しあげます。

タバコ税って？

報道で泉佐野市のタバコ税が大きく取り上げられました。タバコには、国、府、市町村といったタバコ税が課税されています。税金はタバコ製造販売業者が払うことになり、このタバコ製造販売業者とはJTとTNSネットワークです。この業者が泉佐野市内の小売店に卸した時点で市タバコ税が課税されます。泉佐野市の市タバコ税が大幅にアップしたのは、泉佐野市内に広範囲に販売網を持っている、つまり大量にタバコを売ってくれるタバコ販売の業者が泉佐野市で自販機を設置し、泉佐野市でタバコ税を納めてくれることになったからです。タバコ税の場合、自販機一台を置き、そこからタバコ税をまとめて納めることができます。この納め方については、「自販機1台で15億円」といった報道をされましたが、もちろん違法でもなく罰則等があるわけではありません。この事業者が泉佐野市に事業所を開設した理由は、平成20年4月に、市税を3,000万円以上納める企業が新たに泉佐野市に事業所を設置した場合、3,000万円を超えた部分の10%を奨励金として泉佐野市がその企業に払うといった「泉佐野市企業誘致条例」が施行されたからであります。この条例を議会で審査したときは全会一致で可決されました。これにつきましてはタバコ販売業者だけではない全ての企業にあてはまる条例であります。平成21年度の予算で前年度7億2,774万円であった市タバコ税がこのことで23億550万円と約3倍になりました。このようにタバコ税が大幅にアップした例というのはお隣の田尻町でも以前ありました。しかし地方税法の改正によって、自治体の規模によってタバコ税の上限を設けられてしまい、それを超えた部分は都道府県に没収されるようになりました。田尻町は設けられた上限を超えていたために大阪府に没収されることとなりました。タバコ販売業者はタバコ税を事業所や自販機を設置している自治体ならどこで納めてもいいことになっております。しかし例えば地方交付税が交付される自治体でこのようなこと税収増があったとしても増収した分の75%に相当する額が、

地方交付税制度によって削減されてしまっています。というところで関空からの固定資産税収によって地方交付税がわずかしかもらえていなかった泉佐野市のような団体でタバコ税を納めてくれることは、ほとんど全てが泉佐野市の増収につながりまして、財政が厳しい泉佐野市ではとても助かっていました。

泉佐野市はこのタバコ税の増収分が続くだろうという税収見込みを前提に財政健全化計画案を策定しました。しかし今回の報道によって、タバコ税が政権交代後の政府税制調査会で議論されました。その結果、上限をさらに今の3分の2、そしてタバコ販売業者への奨励金が禁止となりまして、タバコ税そのものが1本当たり3.5円の増税となることから、プラスマイナス0ぐらいとなり「ほっと」しているところでもあります。現時点では、タバコ販売業者が泉佐野市から撤退するようない動きはないとのことですが、奨励金が禁止となったことで今後は流動的になることが考えられます。泉佐野市としては厳しい財政状況の中、タバコ販売業者への協力を引き続き求めていくしかありません。

国際ハブ空港化を求めて

地方自治法第99条に、議会は地方公共団体の公益に関する事項について関係省庁に意見書を提出することができるという規定があります。議会はその地方公共団体の議決機関として意思決定をすることを認めているものであります。今回の12月議会には私の所属する「自由民主党泉佐野市議員団」から「関西国際空港の国際ハブ空港化を求める意見書(案)」を提出しました。この意見書(案)が12月議会でも正式に採択されて泉佐野市議会の意見として各関係省庁に送られることになりました。羽田の国際ハブ空港化や関空、伊丹、神戸の3空港の議論が色々とされる中において関空の地元市議会の正式な意見として、「関空の国際ハブ空港化」と「伊丹空港廃止」という文言を盛り込んだ意見書を提出することはタイミング的にはよかったですと考えますし、このことが関空に対して少しでも良い結果をもたらすことを願います。

「関西国際空港の国際ハブ空港化をを求める意見書」

『平成21年11月16日の行政刷新ワーキンググループが行なった「事業仕分け」において、関西国際空港株式会社への補給金が「凍結」との判断がなされたことは、これまでの同空港と共存共栄を図ってきた本市にとって、誠に遺憾な結果であり、また、関西国際空港は複数の長距離滑走路を備え、かつ24時間完全運用可能なグローバルスタンダードに適用国際ハブ空港としての機能を既に有しております。また大阪湾岸部への次世代産業の進出に大きな効果を発揮してきたことは周知の事実です。沖合い5キロという立地条件から騒音問題もなく、このような高いポテンシャルを有している関空を我が国のハブ空港として位置付けるべきであります。

先のワーキンググループでは「伊丹を含めた抜本的解決策が得られるまでは」という条件を付していることから、今こそ関西の3空港問題に決着をつける時期であると考えております。国においては、関西国際空港の建設に至った経緯を十分に踏まえながら、かつ、我が国の将来の発展に繋げるといふ観点からも、伊丹空港を廃止し、関西国際空港を国際ハブ空港に位置付けるという明確なビジョンを早急に示されることが、財務構造の抜本的な改善を図っていかれることを強く求めるものです。

携帯用メールマガジンを開設しています！



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左のバーコードを携帯電話で読み取るか、<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみならずと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は市民の方々の意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております！

第61回「かけはし」… 1月28日(木)

第62回「かけはし」… 2月25日(木)

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 参加費 無料
- 時間 19:30~20:30

千代松大耕 プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選



いづみさの再生 タウンミーティング

(議会)

- 2003.5 市町村合併検討委員長
- 2004.5 第61代副議長
- 2005.5 厚生文教委員長
- 2006.5 監査委員
- 2007.5 行財政委員長
- 2008.5 第65代議長
- 2009.5 議会運営副委員長

(現在)

- (社) 泉佐野青年会議所 直前理事長
- (NPO) 大阪夢づくり協議会 理事
- 泉佐野市バレーボール連盟 会長
- 泉佐野市柔道連盟 理事
- 泉佐野市青少年指導員
- 泉佐野市交通指導員
- 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
- 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
- (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
- 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
- 同志社大学校友会泉州クラブ副代表
- 佐野中柔道部OB会 相談役
- 日本教育再生機構大阪 泉佐野支部長
- 看護を考える地方議員の会 副幹事長
- 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長
- 自由民主党大阪第19選挙区支部 青年部長

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開設いたしました！

Izumisano未来日誌

検索

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています！

市政や議会の情報をいち早く市民のみならず、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス：<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

千代松大耕

検索

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

連絡先：泉佐野市松原2-5-31 TEL 458-1708 FAX 469-0311

ホームページ：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

メール：chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計 627,500部 第62号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。